

# 琉球大学学術リポジトリ

## [巻頭言] 沖縄農業の技術開発と普及の展開

メタデータ	言語: 出版者: 沖縄農業研究会 公開日: 2009-01-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 安次富, 信光 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002015511">http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002015511</a>

## 沖縄農業の技術開発と普及の展開

副会長 安次富 信光



我が国農業の方向性を明確にするため昭和38年に農業基本法が制定され、それに基づいて、農業政策に沿ったそれぞれの事業、研究が進められてきた。しかし近年国際化の著しい進展等により、農業・農村をめぐる状況等が大きく変化してきた。

そして平成10年9月に新農業基本法の制定を含む農政改革のあり方が食糧・農業・農村問題調会より答申され、平成11年7月に新農業基本法が制定された。

更に農業関係試験研究検討会は、「21世紀をめざした農業技術開発と試験研究のあり方について」技術開発の重要な役割を担う研究機関については、農業生産力の向上、農産物の品質、安全性の向上、担い手の確保・育成等農政が抱える諸問題に適切に対応する技術開発を充実、強化することが重要であり、一層の効果的、効率的推進が強く期待されていると記述している。

一方、本県においては国際化の進展に対応するために、農林水産業振興ビジョン・アクションプログラムが平成11年2月に策定された。その中で今後市場競争力による生産拡大を図る戦略品目として、野菜については、サヤインゲン、ゴーヤー、レタス、スイートコーン等12品目、花きは輪ギク、小ギク、洋ラン、トルコギキョウ、果樹は、マンゴー、パパイヤ、中晩柑類、パッションフルーツ、薬草は、ウコン、また保護制度を堅持しつつ、生産確保を目指す安定品目として、サトウキビ、パインアップル、水稻等を位置づけている。

これらの農政の方向に対応するために、農業試験場では革新的技術開発を実施している。戦略品目については、市場競争力を高めるために、低コスト生産技術、高品質生産技術、安定供給技術、安定品目については、超低コスト生産技術、新製品開発、差別化高品質開発に取りこんでいる。

また、近年研究機関に対して、生産現場が直面している生産性の向上の他に労働の快適化、流通システムの確立等、将来の技術の高度化や新しい農業の創出につながる、先端技術の開発に大きな期待が寄せられている。

これらの技術開発を推進するためには、研究機関、大学、普及組織等が連帯を密にして地域農業振興に必要な課題を設定し、市町村、農協等関係機関並びに先導的農家の協力を得て、現場即応型技術組立実証事業を実施して課題解決を図り、生産性向上に寄与する必要がある。